

HEISEI PROJECT PRESENTS

男神

OTOKOGAMI

企画書

A FILM BY MASAKI INOUE

2023/3/15

CONCEPT

「日本から世界へ！！」

映画「男神」の原作は2020年、「日本（美濃・飛騨等）ら世界へ！映像企画」で入選後、翌21年、YouTube怪談朗読サイトで超人気サイト「怖い話怪談朗読」にて朗読され、一躍注目を浴びました。「怖い話 怪談 朗読」サイトは2015年3月に開設され、現在までの総再生回数は1億4000万再生に迫ろうとしている超人気怪談朗読サイトです。

原作の【男神】は2021年8月15日に公開され、21年中は16万再生され、2021年の同サイトでの視聴回数、人気共にランキング1位を獲得。同サイトにおいて21年、22年共に視聴回数、人気共に1位で、その人 気ぶりは衰えることなく新規ファンが続々と増えていっております。男神の人気からリスナーの要望が高まり、八木商店著の朗読作品第二弾 【細くて長い道】が22年3月15日に公開されました。公開から8か月に なるとうとしている現在、再生回数17万回を超え、沢山のリスナーファンからは「今までで一番怖い話」と評価されました。

朗読のリスナーファンや朗読師から書籍化及び映像化の要望多数の作品です。

【原作者】 八木商店

(株)平成プロジェクト主催、「美濃・飛騨から世界へ！映像企画」にて「男神」入選

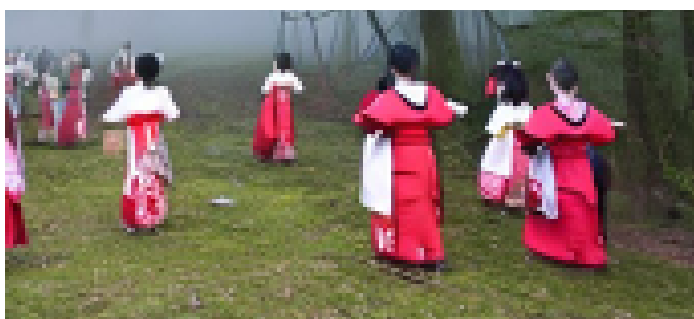
エブリスタ小説大賞2020 竹書房 最恐小説大賞にて「(おん) (すぐそこにある闇)」最恐長編賞 優秀作品受賞。



【企画意図】

映画「男神」は原作をベースにした作品です。日本には古来より伝わる怪談や妖怪譚といった恐怖の要素が存在し、日本独自の文化的背景が反映された作品が豊富にあります。

死や後悔、過去のトラウマなど、人間の心理的な闇を描き、観客の共感や共鳴を呼び起こし、より深い恐怖体験をもたらします。この映画は恐怖感だけではなく、日本の伝統美や文化に触れることができる作品として、世界に向けて発信することを目的としています。



【ロケーション】：日進市各地、舞台となる古民家を中心に森、滝、山などの美しい景色の場所を使ったロケを予定。

【撮影期間】：撮影期間は約4週間を予定。

STORY

【物語】

「バアちゃんは知らんでえ。恐ろしゅうて寝れんなっても怒りなや…」

小さい頃の記憶が思い出せない和田勇輝は、会社の上司である塚田秀二と細田浩司に連れられ山奥深くに釣りに出掛けていた。ヒッチハイクしていたギャル系の娘ヒカルとエミに偶然出会い、そして彼女達の目的であるスマホの電波も電気も通っていない“脱デジタル”が売りの宿「花伝小路」に行くことになる。風光明媚な街の中、ランプの灯りに照らされたその宿は、綺麗な着物で舞を踊る女将たちが客をもてなす夢のような場所だった。その夜、囲炉裏を囲い酒を飲む和田達はヒカルの友人が自殺したという話がきっかけで、それぞれ死に関する話をお互いにする事になる。和田には死に関する話がなかったが、小さい頃にひいばあちゃんから聞いた話を思い出す。戦争に行っ頭がおかしくなってしまった祖父のセイジの奇行と男を生贄にする為に人々を刈っていく”男神”の話だった。ひいばあちゃんの話をしていくうちに微かに紐解かれる和田の幼い時の記憶。そして先祖の呪いと自分が犯した罪を徐々に思い出していく。深層心理の奥深くの扉を開け、意識が過去と現在が交差していく度、その宿に不穏な空気が流れ始める。突如、和田はエミに呼び出されこう告げられる「あなたは戻るべきではなかった」。忌まわしき”男神”の記憶が蘇る時、その街の狂気が動き始める。

【登場人物】

・和田勇輝 本作の主人公。

幼少期の記憶が無く擁護施設で育った男。

ひいおばあちゃんから聞いた”男神”の話を少しずつ思い出していく。

・塚田秀二

不動産会社に勤める和田の上司。大学の先輩。いつも和田を見下し嫌味を言う。霊感が強い為、奇妙な体験をしていてその話を人にしたがる。

・細田浩司

無類の女好き。ヒッチハイクしていたヒカルとエミを車に乗せ、自分達の宿も変更してしまう。

・ヒカル

村出身のギャルの格好をした娘。

友人が自殺してしまった事に疑問持ち悩み続けている。

・エミ

村出身のキャバ嬢。自分を愛していて、見た目を気にしている。

愛想は良いがどこか会話が噛み合わない。

襲われる和田を助け出そうとする。

・女将 詩織

”脱デジタル”の宿「花伝小路」の女将。

ヒカルとエミの従兄弟。近くの神社の巫女も兼任している。

・ひいばあちゃん 和田の曾祖母。

幼い和田と従兄弟にセイジと”男神”の話を聞かせる語り部。

・セイジ

ひいばあちゃんの息子。和田の祖父。お遍路さんの途中で拾われた養子。

戦争で出兵し、多くの敵兵を殺した事で精神がおかしくなっている。

・正恵

セイジの嫁。和田の祖母。山で心中しようとしている所をセイジに拾われた。



【STAFF & CAST】



Yumiko Masuda

Producer

プロデューサー 益田祐美子

岐阜県高山市生まれ。金城学院大学卒業。
同大学での研究「高齢者用商品開発への提言と実際」
が商品研究大賞受賞。NHK岐阜・名古屋でニュース、
子ども向け番組に出演。月刊『Home Economist
Wise』誌記者を経て、株式会社平成プロジェクトを設
立、代表取締役社長就任、現在に至る。
内閣府「生活者の観点からの地域活性化調査」委員、
第2・3・4回経済産業省ものづくり大賞審査員、「瀬戸
内国際こども映画2011」総合プロデューサー、防衛省
航空幕僚幹部援護推進委員、「ヒロシマ平和賞」選定
委員等。



Masaki Inoue

Director

監督 井上雅貴

監督作

- ・映画「レミニセンティア」
日本人監督によるロシアSF感動作
ハリウッドと日本で長編作品賞受賞
- ・映画「ソーキンの見た桜」
愛媛国際映画祭2019オープニング作品
モスクワ国際映画祭2019正式招待作品[4]
オレンブルク国際映画祭2019観客特別賞 受賞
海外のロシア映画祭2019日露友好貢献監督賞 受賞
- ・映画「インサイド・ウォーター」

【映画「男神」応援】

怪談朗読師 136 (イサム)

【経歴】

- ・ネット配信活動 18 年目
- ・怪談朗読話数 6,000 話以上
- ・YouTube チャンネル登録者数 11 万人以上、動画総再生数 1 億 4,000 万回以上、動画総再生時間 3,600 万時間以上提供
- ・IIV(トゥーファイブ)殿出版 後谷戸隆 様著『お化けのそばづえ』 プロモーション朗読担当
- ・ノベルアップ+(プラス)殿 夏の夜の怪談コンテスト(785 作品応募) 最優秀作品、彼岸賞 2 作品 受賞特典朗読担当
- ・つむぎ書房殿 雨宮汐 様著「君を愛すと死にたくなる」プロモーション朗読担当
- ・広島県 三次もののけミュージアム様にて「三次ネット怪談・朗読会『百物語 序』」イベント実施
- ・他、八木商店 様著「男神」、「長くて細い道」「件名 Re:何かオモシロイはなしはないか?」等、多数の怪談作家様からの朗読依頼に対応

カメラマン/フォトグラファー/写真家 川西 綾人



【略歴】

1982 年香川県高松市生まれ。
幼い頃から手にしていたカメラで「誰か」の役に立てないかと 2021 年に脱サラをして 2022 年に写真屋として活動を開始。
家族写真、商品撮影、イベント撮影など幅広く写真撮影をさせていただいております。
YouTube 怖い話怪談朗読ではこれまで 500 枚以上写真提供しております。
また NPO 法人からの依頼にて地域のコミュニティーセンターにて
シニア向け スマホ写真講座の講師や小さいお子様のおられるママ向けの写真講師、
地域の 広報などに掲載用の写真撮影などもしております。

劇場用劇映画『男神』製作に向けて

ご協賛のお願い

朗読【男神】は、YouTube「怖い話 怪談 朗読」サイトにて2021年8月15日に公開され(<https://www.youtube.com/watch?v=Sv1K Wow ml>)、同年中に16万回再生、視聴回数、人気共に同サイトにおいてランキング1位を獲得しました。その人気ぶりは衰えることなく、2023年3月10日現在に至っては再生回数は**38万回**を超え、新規ファンが続々と増えています。【男神】リスナーの強い要望により、この度を映画化する運びとなり、製作に関する費用の一部を協賛で集めることとなりました。映画の完成と公開にむけ、ご支援くださいますようお願い申し上げます。

あらすじ：小さい頃の記憶が思い出せない和田勇輝は、会社の上司と松山の山奥深くに釣りに出掛けていた。ヒッチハイクしていたギャル系の娘ヒカルとエミに偶然出会う。そして彼女達の目的であるスマホの電波も電気も通っていない“脱デジタル”が売りの宿「花伝小路」に行くことになる。その夜、囲炉裏を囲い酒を飲む和田達はヒカルの友人が自殺したという話がきっかけで、それぞれ死に関する話をお互いにする事になる。和田には死に関する話がなかったが、小さい頃にひいばあちゃんから聞いた男を生贄にする”男神”の話を思い出す。微かに紐解かれる和田の幼い時の記憶。そして先祖の呪いと自分が犯した罪を徐々に思い出していく....。

協賛特典

		特別協賛A 300万円	協賛B 200万円	協賛C 100万円	協賛D 30万円	協賛E 2万円	協賛F 1万円以内
映画本編	エンドロール 社名掲載	○ロゴ大	○ロゴ中		パンフレット、 エンドクレジット に名前を表記	エンドクレジット に名前を表記	特典なし
ウェブ 特定印刷物	映画HP内、チラシ・脚本等 社名掲載	○大	○中	○小			

何卒よろしくお願い申し上げます（締切 第1回目：2023年6月）

男神製作委員会（協賛受付 ㈱平成プロジェクト） 代表 益田 祐美子（協力プロデューサー）

〒102-0092 東京都千代田区隼町3-19 清水ビル2F
TEL: 03-3261-3970 FAX: 03-3261-3971 E-mail: info@heisei.pro

劇場用劇映画『 男神 』

協賛申込書

この度は誠にありがとうございます。下記をご記入の上お送りくださいますようお願い申し上げます。

記入日:

協賛社名 各種印刷物、ウェブサイトなどに掲載いたしますので正式な表記をお願い致します	
日本語	英語
責任者	
部署/役職名:	氏名: 印
担当者(ご連絡窓口)	
部署/役職名:	氏名:
ご住所: 〒	
TEL:	FAX:
Email:	
協賛内容	
☐ 協賛A 300万円 ☐ 協賛B 200万円 ☐ 協賛C 100万円 ☐ 協賛D 30万円 ☐ 協賛E 2万円 ☐ 協賛F 1万円以内	
※金額は税別です。※本確認書を受領後、ご担当者様宛に請求書をお送り致します。	
協賛金合計: _____ 円 (お振込予定日: _____)	
備考	

申込締切(第1回目)

2023年6月末日

協賛金振込先

三井住友銀行 麹町支店
普通 9080413

平成プロジェクト
委員会代表 益田祐美子

お申込み・お問合せ先 (本申込書はExcel形式でもご利用いただけます。お問い合わせください)

〒102-0092 東京都千代田区隼町3-19 清水ビル2F
「男神」製作委員会 協賛窓口 (株)平成プロジェクト
TEL: 03-3261-3970 FAX: 03-3261-3971 E-mail: info@heisei.pro

送信先 FAX: 03-3261-3971 E-mail: info@heisei.pro